9/15(日)

秦野市保健福祉センター
多目的ホール

第13回中学生英語スピーチコンテスト

チャレンジは何度でも!!

優　　勝	八田悠莉さん
第2位・オーディエンス賞	奥村美鶴稀さん
第 3 位	木島里緒さん

八田悠莉さん

奥村美鶴稀さん

木島里緒さん

秦野市在住の中学1年生から3年生の男女15名が一人3分間の持ち時間をフルに使い、時に身振り手振りを交えながら、約90人の聴衆に熱く語りかけました。テーマは自由。給食・部活動・友人のことなど身近な話題から国際交流・環境問題・平和などシリアスなものまで多岐にわたりました。いよいよ審査結果発表へ。驚いたことに、昨年度上位入賞の同じ参加者が今年度も1位・2位を占めました。また、6位までの入賞者は全員女子生徒でした。

最後に審査員長の東海大学・菅家知洋准教授よりアドバイスがありました。

①英語　発音に気をつけて「伝える」ことを意識し、スマホで自撮りして練習する。

②内容　聴衆に「聴いて得した」と思ってもらえるテーマを選び、分かりやすい構成（導入・本文・結論）を心がける。

以上が講評と共に伝えられました。このコンテストは中学3年間だれでも3回 の参加機会があります。2度目、3度目のチャレンジに期待したいと思います。　（河口博子）

内藤優顧問ご逝去

50年間のご貢献に感謝

去る9月18日、内藤優顧問がご逝去されました。89歳でした。内藤顧問はこの会発足当初から携っておられ、1978(昭和53)年には第1回民間友好親善団の一員として、パサデナ市を訪問されました。当時の長洲県知事は「民際外交」を提唱、この時の訪問は秦野市における意義ある歴史的な民際外交のスタートとなりました。

内藤顧問は1999(平成11)年から2007(平成19)年まで会長を務められ、停滞する交流の活路を拓くことに尽力されました。勇退時には「これからは若い青少年を育てることを大切に」と残されています。その言葉は今にも続くキーワードとなり、現在の青少年派遣、姉妹校交流、音楽や野球交流が相互に行われています。内藤様のご冥福を衷心よりお祈りいたします。

編集後記

“交流の輪を広げたい”長年の夢が叶った今回の訪問団一行とのふれあい。一人ひとりの心に大きな感動と素敵な思い出を残してくれたことでしょう。「24人の皆様を受け入れることはできるのだろうか」正直、大きな不安を抱きながらのスタートでした。しかしながら、様々な交流の機会を持つ中で、それは徐々に消え、喜びへと変わっていきました。こうして滞りなく本事業を終えることができたのも、事務局をはじめ、多くの皆様方のご協力の賜物と改めて感謝申し上げます。　（大津道雄）

【ご協力いただいた方々(順不同)】　秦野市農業協同組合・JAはだの女性部　(株)不二家秦野工場　秦野市国際交流協会　秦野・坡州友好協会　フォーライフ(マリンバ)　秦野観光和太鼓　太鼓集団「鼓粋」　和楽器の会・糸竹舎　タップダンサー 猪俣昌也　日本舞踊正派岩井流　織部流茶道飯田宗節社中　おから塚喜劇団　詩吟 田中節子　秦野市少年野球連盟　秦野市青少年指導員連絡協議会　よさこいゆきみ　カレーライスでおもてなしの会　（敬称略）